



2025 年 10 月 22 日

## 大正健康ナビ、10/22 新着情報

子どもを中心に流行する感染症「りんご病(伝染性紅斑)」を公開！



大正製薬株式会社が運用する健康情報サイト「大正健康ナビ (<https://www.taisho-kenko.com>)」では、10 月 22 日に「りんご病 (伝染性紅斑)」を新着公開しました。

りんご病は、正式名称を「伝染性紅斑 (でんせんせいこうはん)」といい、「ほっぺがりんごのように赤くなる」という特徴的な見た目から「りんご病」と呼ばれています。主に幼児期から小学生頃の子どもの中心に流行する感染症ですが、大人もかかることがあります。

本記事では、りんご病 (伝染性紅斑) の原因や症状、治療や予防法など医師が解説しています。正しい情報を知り、いざというときに対処できるようにしましょう。

### かぜと勘違いしたり、無症状のうちに感染を広げるケースも

りんご病 (伝染性紅斑) は、「パルボウイルス B19」というウイルスが原因で起こる感染症です。感染経路には、「飛沫感染」と「接触感染」があります。

1～3 週間ほどの比較的長い潜伏期間の後、特徴的な赤い発疹が現れます。それまでの期間は無症状の人も多いですが、中には発疹が出る 1 週間くらい前に、かぜによく似た症状が現れる人もいます。実は発疹が出る前の時期が最も感染力が強いため、かぜと勘違いしたり、無症状のうちに感染を広げたりするケースが多く、集団感染が起こりやすい感染症です。基本的には自然治癒する病気ですが、まれに合併症を引き起こすことがあるため、りんご病の疑いがある時は一度受診することが大切です。

特に妊婦や血液疾患のある方が感染すると、胎児への影響や重症化するリスクがあるため、早めに受診して相談しましょう。

## 専門医によるヘルスケアアドバイス

### 「りんご病(伝染性紅斑)」

<https://www.taisho-kenko.com/disease/650/>

#### 目次

1. りんご病(伝染性紅斑)の原因
2. りんご病(伝染性紅斑)の症状
3. りんご病(伝染性紅斑)の治療・対処法
4. りんご病(伝染性紅斑)の予防法

## 監修者プロフィール

こどもとおとなのクリニック パウルーム 院長  
黒木 春郎 先生(くろき・はるお)

千葉大学医学部卒業。医学博士。千葉大学医学部臨床教授。公認心理師。千葉大学医学部関連病院勤務を経て、1998年千葉大学医学研究院小児病態学教官。2005年外房こどもクリニック開業(千葉県いすみ市)を経て、08年医療法人社団嗣業の会理事長、23年より「図書室のなかのクリニック」をコンセプトにした、こどもとおとなのクリニック パウルームを東京都港区に開業。日本小児科学会専門医・指導医。日本感染症学会専門医・指導医・評議員。日本遠隔医療学会理事。著書に『駆け抜けた17年』(幻冬舎)、『プライマリケアで診る小児感染症 7講』(中外医学社)、共著『最新感染症ガイド R・Book 2018-2021』(日本小児医事出版社)ほか多数。

大正健康ナビ: <https://www.taisho-kenko.com>

大正健康ナビでは、生活習慣病などのつらい症状、人には言いづらい悩みの原因、症状、改善や予防法をご紹介します。また、気になる症状をすぐにチェックできるコンテンツもご用意。いろいろな疑問にも専門医が分かりやすくお答えします。

## 大正製薬について

当社は「人々の病気を予防し、健康を増進させたい。」こうした思いから大正元年に創業しました。以来、100年以上にわたって生活者の皆さまの健康で豊かな暮らしの実現に貢献するために、病気の予防や治療、健康によりそうべく、医薬品から食品まで幅広い製品ラインアップで、皆さまのさまざまなニーズにお応えしてまいりました。昨今、健康意識が高まる生活者の皆さまのニーズが多様化しており、このような変化に柔軟に対応しながら高品質な製品とサービスを提供し続けることで、皆さまの健康に寄り添ってまいります。

### <本件に関する報道機関からのお問い合わせ先>

大正製薬株式会社   メディア推進部   03-6382-7304

梶田 寛文   h-kajita@taisho.co.jp

田中 秀治   shuj-tanaka@taisho.co.jp